

1	マイア	主殿（あるじどの）
2	王	マイアか
3	マイア	は。火急の用件なれば思念術（しねんじゅつ）にて失礼をば
4	王	よい、話せ
5	マイア	はっ。西方の禁軍（きんぐん）ですが、
6	マイア	やはり叛意（はんい）翻したものと見て間違いないかと思われま すすでにロナルド、モース他、周辺諸侯をその陣営に加え、 恐れ多くも氣勢猛々しく都に迫っております
7	王	月に乗じて風雲の志を果たすか。くく、相変わらず機は違わぬ。 なんとも小賢しい奴らよな
8	マイア	いかがしますか。動き出し間もない今であれば割って入り、 崩すのは容易い（たやすい）かと存じますが
9	王	出るぞ。王に逆らう者は容赦せぬ
10	王	誰であれ例外はない、小才（こさい）を利かして息を荒くしている奴らの 鼻を折るのだ
11	マイア	御意に。それでは先方は私が――
12	王	待て――たしかあれがあったな
13	王	デーイドの置き土産、どれほどのものか見ようではないか
14	マイア	しかし、恐れながらあれの運用にはまだリスクがあると
15	王	構わぬ。貴様が陣頭を蹴散らしたとて、よしんば奴らが退くことはなから う

16	王	ならば見せておけ。先に待つ地獄の一边（いっぺん）を
17	王	二陣（にじん）の指揮は貴様が取れ。ディアボロの意識を奴らに向けさせ、程々で退くがいい
18	マイア	仰せのままに //（足音…マイア退出）
19	王	ディアボロの活動期間はもって数週間。季節が巡るには幾ばくか早いかわくわく、今こそはきと衆目に示されるであろう。黄金の国、その真の支配者は誰かとな
20	王	つくづく猪口才な奴らだが、なればこそ王の力を振るうに相応しいというもの
21	王	